

青い空、白い砂浜、青い海——

このロケーションを前にして、20代の若者がすることは、
水着に着替えて、浜辺に駆けて行って……

とはいえ、PABF期間中はホテル内でブリッジオンリーでした。オーストラリアのゴールドコーストという超リゾート地に行ったにもかかわらず、僕らに残ったのは大好きなブリッジの思い出ばかりです。コアラやカンガルーにも会えずじまいでした。

関空から8時間かけて到着した次の日から、2日間かけてのストラティファイドペアというサイドゲームが始まりました。チーム戦の前にわざわざ疲れそうなペア戦をしたくなかったというのがホンネなのですが、パートナーの小池紀彰君が初代表で、海外の試合も初めてということもあって、外に出ていきたい気持ちを押さえて練習のために出場しました。僕自身はPABFに参加するのは今回で3度目になりますが、1回目はペア戦なし、2回目はプレイオフのため出られずで、3回目にしてようやく初のペア戦出場となりました。

試合は27ボード×4セッションで、最初の2セッションの結果によってフライト分けされます。参加は約90ペアで、フライトAは18ペアのみ。

我がペアの記念すべき海外デビュー初セッションの結果は、67.6%！という望外のスコアで、EWペアのトップでした。その中から1ボードを。

Board : 21	♠ 10642					
Dealer : North	♥ J53					
Vul : N-S	♦ 65					
	♣ AJ62					
♠ AJ75	♠ 983					
♥ KQ1062	♥ 987	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 40px; height: 40px; margin: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">N</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">W E</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">S</td></tr> </table>	N	W E	S	♦ AKJ82
N						
W E						
S						
♦ 943	♣ 105					
♣ K						
	♠ KQ					
	♥ A4					
	♦ Q107					
	♣ Q98743					
N E S W						
P P 1♣ 2♣*						
3♣ ?						



メガネをかけている方が僕です。

2♣* = ♠4枚、♥5枚、11-15HCP

3♣にEはどうするかですが、LOTT的にはこちらの♥フィットが8枚で敵の♣が8、9枚なのでトータルトリックがどうのこうの、というようなことはミジンも考えずに、メジャーが一応両方フィットしているのに3♣をプレイされるのはシャクだという単純な理由で3♥をビッドするとスタンドしてメイク。NSはあまり良い手ではありませんが、10枚フィットということもあり、3♣はメイクします。ビッドしておいてよかったなあと驚きました。

この勢いのまま、2ndセッションも59%を取り、ひとまずは予選通過という当初の目標を果たせました。トップというオマケ付きです。

2日目に入ると、初日に比べて相手も手強くなり、システムも複雑なものを使うペアが増えました。1NTオープンレンジだけでも、8-10、11-14、13-15、14-16、15-17、16-18といろいろです。それぞれの特殊なシステムに対する対策は、「ストロングクラブ以外は常にナチュラル」を原則に対戦ごとに軽い確認を行い、特に翻弄されることもありませんでした。ただ、ストロングクラブだけは事前に対策を用意していたにも関わらず、サクションというコンベンションは日本人に合わないのか、自分たちだけでなくいろいろな人の失敗を目にしました。1日目に戻りますが、とあるボードからその失敗談を。

自分のテーブル (1♣*)-2♥*- (P)-3♥; (3NT)//

2♥は♠か両マイナースを示すビッド。ナチュラルだと勘違いしたパートナーはレイズし、♥がメインスーツのオープナーは♥を紹介できずに3NT。♠が打ち抜きでしたが、一つ取ってスイッチすると、残り全部を取られ6メイク。相手は6♥はビッドできないからとこの結果に満足してそのままスタンド。僕もThis will be a good result for you.と言いましたが、結果はなぜかこちらの69%。スママセン。

他の日本ユースのテーブルでは、(1♣*)-3♠*- (P)-4♥; (X)//

敵に6♥があるハンドでの4♥Xはかなりのハラショー。2600点くらいを献上してブリテンにも載りました。

他にもそんなテーブルがいくつかあったようで、6♥に調整になったテーブルもあったようです。

話は戻って、2日目はキャリーオーバーを活かして優勝を狙えるかもと思っていたのですが、残念ながら持ち越しは無しのリスタート。あああという開始前でしたが、気を取り直して、3rdセッションもうまく行って59%で2位。そろそろ優勝も現実味を帯びてきて、ドキドキ。とはならず、昼ご飯を食べてからは眠くなり、出だし10ボードくらいは明らかにつまづき模様。

ちなみに、この試合は毎ラウンド結果がスクリーンに映しだされ、自分の順位が確認できるようになっています。結果に左右されて判断が歪んでも困るので、見ないようにしていましたが、最後のボードをプレイし終わって、スクリーンに映った前ラウンドまでの順位は4位。あーやっぱり落ちてたかあ、無理かなあと思いながら結果を待っていると、数分後には上から2番目に名前が。

今まで地元大阪ブリッジセンターのペア戦でも良い成績を取った記憶がなかなかないので、PABFのペア戦で入賞できたのは本当にラッキーでした。これもこの1年半ほどたくさん組み、ずっと練習をしてきたおかげだと思います。特に、小池君はまだ3年生で、自分が3年生だった頃は自分のハンドすら覚えられなかった事を考えると本当に上手でよく頑張ってくれました。

ところで、この後のチーム戦はというと、詳しくは別の方が書かれると思いますが、予選落ちに終わりました。最低でも表彰台をと思い、ずっと練習をしてきただけに残念ですが、もっと揺れないブリッジをしなければと実感しました。

僕らはまた10月に北京で行われるWMSGに参加するので、次こそは予選通過を狙って練習を積みます。

最後になりましたが、びっくりするくらい物価の高かったゴールドコーストで経済的にも支えて頂き、期間中ずっとついてサポートしてくださった山後キャプテン、寺本コーチ、ありがとうございました。北京には北京ダックという食べ物があるそうです。

<終わり>



後列左から田中秀悟、横井大樹、貴戸祥郎、中山尚純、伊井康朗、今井智士、寺本直志コーチ
前列左から山後秀幸NPC、小池紀彰、田口宏之、田中治輝、後藤田俊輔、志賀元明